

技術職員による

大気海洋技術ワークショップ

2024年12月6日(金) 10:00-11:30

(講義室217 + Zoom のハイブリッド形式で行います)



東京大学大気海洋研究所は、全国共同利用・共同研究拠点として、学術研究船・各種分析装置・大型計算機・国際沿岸海洋研究センターの船舶と研究施設の利用支援を行なっています。本ワークショップは、共同利用への支援を直接的に担う大海研所属の技術職員が中心となり、業務の紹介と専門技術の共有・継承を目的として開催されます。大気海洋研究に関する技術に興味をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

教員・研究員・学生
技術支援職員など
どなたでもご参加下さい！

10:00-10:10 開会挨拶 (兵藤 晋 所長)

Ogawa, Nobuhiro

Laboratory Research Support Group

10:10-10:40

小川 展弘 (陸上研究推進グループ)

中央顕微鏡施設での取り組み



陸上研究推進グループでは共同利用に使用する15の陸上共通実験施設の管理・運用をおこなうとともに、技術開発などの多様な業務も積極的に推進しています。本講演では、まず中央顕微鏡施設で管理する装置のうち特に電子顕微鏡やその周辺装置について、最近の装置の状態を含めて紹介します。また演者が専門とする電子顕微鏡を使った形態解析について、研究開発など取り組み状況を簡単に説明します。その後、近年、陸上研究推進グループで開発に成功した大気海洋研究所の電子顕微鏡解析の新技术も御紹介したいと思います。皆様の共同利用研究にお役に立てれば幸いです。

Kameo, Katsura

Field Research Support Group

10:45-11:15

亀尾 桂 (観測研究推進グループ)

共同利用・共同研究拠点での技術職員の役割



大気海洋研究所は共同利用・共同研究拠点として文部科学省から認定を受けています。全国共同利用の研究所として、所属している技術職員の役割は益々重要なものになっています。観測研究推進グループは主に学術研究船（白鳳丸・新青丸）で行われる共同利用航海に関する様々な事柄に対応しています。また、共同利用航海以外の調査・観測にも貸し出される共同利用観測機器に関わる様々な事柄にも対応しています。本講演では、これまでに担当してきた業務や現在観測研究推進グループ内で担当している業務を紹介し、共同利用との関わりについて考えていきたいと思います。

11:15-11:30

講評 (沖野 郷子 共同利用共同研究推進センター長) 閉会挨拶

問い合わせ先

共同利用・共同研究センター

陸上研究推進グループ

早乙女伸枝 (saotome@aori.u-tokyo.ac.jp)